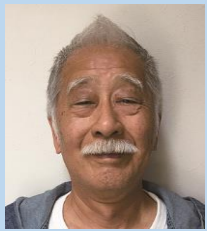


■人生の中で一番輝く年代「サードエイジ」

今まで人生を「第1の人生」「第2の人生」のように、年齢を基準で分けることが一般的でしたが、平均寿命が延び、人々のライフスタイルが多様化する現代では、年齢で人の一生を説明することが困難となってきています。英国の学者ピーター・ラスレットは「ファーストエイジ(教育を受け、社会に出るまでの年代)」「セカンドエイジ(仕事・子育てをする現役世代)」「サードエイジ(現役から引退し、自己実現と達成の年代)」「フォースエイジ(人生の終末までの年代)」の4つに分けることを提唱しました(「The Emergence of the Third Age」1978年)。そこで私たちは「サードエイジ」世代を「人生の中で一番輝く年代」として応援し、発信しています。

■講師紹介



三浦恒義：元クリエイター

幼少の頃、日本画家中村岳陵の目にとまり絵画の手ほどきを受ける。やがてポップアートの刺激を受け週刊プレイボーイでイラストコラム連載。NHKみんなのうたではアニメを作るなど表現の場を拡大。一方で学生時代にヤマハ音楽コンテスト東京大会優勝。その流れからシェル石油、第一生命、東芝、ポーラ化粧品、沢の鶴、資生堂、X-FILE、ドラえもんなどのCMを創ってきた。絵を描き、曲を書き、脚本を書き、監督&演出をして活動。最近では逗子の歴史文化を語るまち巡りを開いている。NPO法人逗子文化の会会員。市内在住。



げん まこと：自分史活用推進協議会自分史活用アドバイザー

放送作家出身。タレントの魅力をどのような喋りで伝えるかという仕事から始まり、スポーツイベントの広報や出版社の編集など、さまざまな媒体で主に企画・ライター業に携わる。2018年4月から地域の魅力を伝えるローカルメディア「逗子葉山経済新聞」を始める。逗子郵便局前「紡氣」2階で「チームつむぎ」として町の魅力を伝えるイベントなど毎月開催中。NPO法人逗子文化の会会員。市内在住。



長島キャサリン：まちづくりコンサルタント

ロンドン生まれ、ウェールズ育ち。国立ウェールズ大学地理学科、フランス、グルノーブル大学院卒業。ギリシャ・アテネ人間生活研究所にて勤務中、建築家の長島孝一と結婚。1965年逗子に住み始め、6人の子供を育てながら色々な地域活動に参加。逗子ゼロ・ウェイストの会リペアカフェ逗子メンバー。まちづくりコンサルタントとして活躍。現在横浜市立大学エクステンション講座講師。オンライン国際ジャーナル「Ekistics and the New Habitat」の編集委員。市内在住。



小日向孝夫：アウトドアコーディネイター

登山は故長谷川恒夫氏と同じ「星と嵐」同人に属し、初登攀(はつとうはん/岩場を最初に登ることも)数本している。國學院大學を経て、出版社の山と溪谷社に入社。山と溪谷、アウトドア、skier、スノーボード、ウインドサーフィン、ヤマケイJOYなどの編集を歴任。日本のスキー場や山はもとより、ヨーロッパ、北米、アフリカや南米にも行っている。編集長のあと事業部を任せられ、スクールの運営も行っていた。定年後はスポーツオーソリティや山ガールネットなどのアドバイザーを行ない、現在はHP山女子クラブのアドバイザーをしている。

*資格は社会科教師免許、山岳ガイド協会ガイド免許。市内在住。

■大好評！逗子をクイズ化！本で読める化！

ハンドブック「知っ得ずしQ&A～読めばご当地コンシェルジュ～」

サードエイジ連続講座を受けたサードエイジの皆さんが、逗子のことをもっと知りたい！広めたい！との思いから、約3年をかけて120問のクイズ形式でまとめました。逗子に関する自然・景観、歴史・旧跡、寺院・神社、文化・芸術、暮らし・生活などを、「自然の回廊」別に網羅したので、この本をお手に逗子を散策してみたいはかがでしょう。

ご希望者には有償頒布します。

頒布場所：逗子市観光協会(市役所2F)&逗子市商工会(以上平日のみ)、

ワインショップ a day.(なぎさ通り) セレクトショップ紡氣(逗子郵便局前)

お問合せ：090-6114-1748 hisa524tanaka@jcom.zaq.ne.jp(田中)

